

単元名：工作

「おもしろだんボールボックス」

(全 4 時間扱い中 第 1 時)

授業日時 2021 年 11 月 11 日 (木) 第 3 校時

授業学級 4 年西組

授業会場 4 年西組教室

授 業 者

指 導 者

(1) 主眼 (授業の手立て & ねらい)

(○○の子ども達が) ○○の場で、○○を通して、○○を□□することができる／できるようになる。

段ボールを材料とした入れ物を作ろうとする場面で、段ボールの形から自分なりの入れ物を考えたり、そのイメージに合う形になるような切り方を考えたりすることを通して、作りたい入れ物を表現するために切り方を工夫することができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 段ボール箱の形や入れたいものから作りたいものを考える。	・ 本棚にできそうだな ・ 宝物入れにしたいな ・ 妹のおもちゃ入れにしようかな ・ パソコンは入るかな ・	※机を班ごとに島にする。 ※単元名「おもしろだんボールボックス」を板書する。 ※材料となる段ボール(箱)を配る。 「今回の主な材料はこの段ボールの箱です。」 「先生はクリスマスのお菓子を入れる入れ物を作りました。みんなはこの段ボールの形を見てどんなものを入れたいと思いますか？」 ○段ボール箱×入れ物 板書 ○3人ほどにアイデア聞く	3
	【学習問題】 段ボールを材料に入れ物を作ろう			
	2. 作りたいものに合う形を考える	・ 妹は猫が好きだから猫の形にしたいな ・ このままの形じゃパソコンは入らなそうだな ・ ぱかっと開く形にしたいから背中以外真ん中で切る ・ 箱の上部分だけ切り取って中に仕切りを入れたい ・ なるほどね! ・ 切ってつなげてもいいんだ ・ 私はどんなふうに切ろうかな	「でも今の状態では何も入れられないね。どんなふうに段ボールを切ったらみんなが作りたいものの形になりそう？」 ○何もしてない段ボール箱を提示 ①子どもが色んなところで話している →そのまま学習課題へ ②話したがっている →学習課題に移れそうな様子になるように 1,2 人聞き出し、私が図に表現 ③考え中… →パソコンからスライドを提示、それでも難しそうなら四東の作品を 【6枚のスライド】	5
	【学習課題】段ボールの切り方を工夫して作りたいものに合う形にしよう			

展開	3. 作りたいものに合うように切り方を考えて切る	・箱を二つに切ってつなげると本棚らしい形になったぞ ・どう切ればこの形になるのかな。線を引いてみよう。 ・取っ手があると便利だからモールを使いたい ・どうやって仕切りを作ろう ・窓やドアをつけたら面白そう ・白のままじゃ面白くないな。色はどんな色にしよう ・足りない段ボールは友達のを余った段ボールで補えそうだ	○カッターを使う際の注意点確認 「箱の中に仕切りを作りたい人は黒板の前から段ボールを取って行ってね」 ○作りたいものが決まった児童から製作するように指示する。 ○立体の位置関係に戸惑う児童には、ものさしを使って長さをそろえたり、トレースしたりなどの方法を。 ○切り方に悩む児童には、どんな使い方をしたいか質問に切り方の例を提示(スライドや四東の作品) ○段ボールの形や切り方を工夫している児童を終末に向けて抽出しておく。 ○余った材料で使えそうなものは黒板の前に持ってくるように指示。 【材料を入れる箱】 ○色を塗りたい児童が出てきたら黒板に使ってもいい画材を板書していく。	2
終末	5. 表現した過程を振り返る	・この部分、頑張って作ったからみんな見てほしい ・そんな切り方があったか！ ・面白いデザインだな ・参考にしよう ・次はこの部分作ろう ・色塗るー ・折り紙貼りたい ・取っ手作る	○現時点での工夫を振り返るように発問する。 「この形面白いね、どうして〇〇さんは切り方にしようと思ったの？」(人によってはどうしては使わない) 「〇〇さんのデザイン素敵じゃない？」 「次の時間はどんなことをやってみたい？」	5

【本時の評価（評価する対象）】

作りたい入れ物を表現するために切り方を工夫することができる